

【第33回3級(管理業務)実技試験】

(はじめに)

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとしての選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2019年1月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

- 1 精密機器メーカーX社は、技術者甲が独自に創作した発明aについて、2019年6月10日に特許出願Pをした。特許出願後、次の文献1～2が発見されたので、甲はX社の知的財産部の部員乙に特許出願Pが各文献を引用して拒絶されるか否かを相談した。なお、X社は特許出願に際して特別な手続は行っていない。

文献1 2018年11月1日に特許出願され、出願公開がされずに2019年5月30日に登録された丙の特許の特許請求の範囲に、発明aと同じ発明が記載されていたことが2019年6月20日に発行された特許公報から判明した。

文献2 2019年6月1日にイギリスで発行された雑誌に、発明aと同じ内容の発明について英語で記載された記事が掲載されていた。

以上を前提として、問1～問4に答えなさい。

問1

特許出願Pについて、文献1により拒絶されないと考えられる場合は「○」を、拒絶されると考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問2

問1において、拒絶されない又は拒絶されると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問3

特許出願Pについて、文献2により拒絶されないと考えられる場合は「○」を、拒絶されると考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問4

問3において、拒絶されない又は拒絶されると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【第33回3級(管理業務)実技試験】

【理由群Ⅰ】

- ア 新規性（特許法第29条第1項）の拒絶理由に該当するため
- イ 進歩性（特許法第29条第2項）の拒絶理由に該当するため
- ウ 先願（特許法第39条第1項）の拒絶理由に該当するため
- エ 拒絶理由には該当しないため

さらに、部員乙はX社の技術者甲に、拒絶理由通知について次のように説明した。

「日本語でされた特許出願の審査において、審査官は、拒絶理由を発見した場合に、出願人に拒絶理由を通知します。これに対して、出願人は出願内容の補正をするために手続補正書を提出できますが、特許出願の願書に最初に添付した明細書、特許請求の範囲又は図面に記載されていない事項を追加する補正はできません。」

以上を前提として、問5～問6に答えなさい。

問5

乙の説明について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問6

問5において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群Ⅱ】

- ア 出願人は、特許出願の願書に最初に添付した明細書、特許請求の範囲又は図面に記載されていない事項を追加する補正をすることができないため
- イ いわゆる最初の拒絶理由通知の場合、指定された期間内であれば特許出願の願書に最初に添付した明細書、特許請求の範囲又は図面に記載されていない事項を追加する補正をすることができるため
- ウ 拒絶理由の内容によっては、特許出願の願書に最初に添付した明細書、特許請求の範囲又は図面に記載されていない事項を追加する補正をすることができる場合があるため

【第33回3級(管理業務)実技試験】

2 次の発言1～3はコンテンツの利用方法についてのものである。

発言1 「非営利団体V協会が主催する子供を対象とする無料のイベントで、私の地元出身の作曲家甲が作曲し、現在、子供達の間ではやっている曲Aを、私が無償のボランティアで演奏しようと思っています。この場合は、甲の許諾を得る必要はありません。」

発言2 「私が勤務する飲料メーカーW社が先月清涼飲料水を発売したところ、新聞社X社が発行する新聞に記事Bが掲載されていたので、わが社の販促活動の一環として、記事Bをコピーしてスーパーの清涼飲料水の売り場に掲示しようと思っています。この場合は、記事BはW社の商品に関するものなので、X社の許諾を得る必要はありません。」

発言3 「私が勤務する出版社Y社の取材で、わが社が発行する雑誌に掲載するためにある喫茶店の店内の様子を撮影したところ、この写真Cに喫茶店の常連客乙が描いた絵Dが小さく写り込んでいました。この場合は、乙の許諾を得る必要があります。」

以上を前提として、問7～問12に答えなさい。

問7

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問8

問7において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅲ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問9

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問10

問9において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅲ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問11

発言3について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問12

問11において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅲ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【第33回3級(管理業務)実技試験】

【理由群Ⅲ】

- ア 著作権を侵害する場合にあたるため
- イ 著作物の定義にあてはまらないため
- ウ 著作権が制限される場合にあたるため

【第33回3級(管理業務)実技試験】

③ 問13～問26に答えなさい。

問13

照明器具メーカーX社は、社外の技術者甲に依頼して開発してもらった電気スタンドに関する発明についての特許出願を検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の考えとして、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア X社が特許出願をするためには、X社と甲との間で、特許を受ける権利をX社に譲渡する旨の契約が発明完成前にあらかじめ締結されていることが必要である。
- イ X社が甲に開発費を支払って開発した発明であっても、この発明の発明者は甲になる。
- ウ 甲には、電気スタンドの完成と同時に特許を受ける権利が発生し、甲は、この権利を他人に譲渡することができる場合がある。

問14

ア～ウを比較して、意匠の登録要件に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 意匠登録出願に係る置物の意匠が、北海道にある札幌市時計台のデザインに基づいた商慣習上のありふれた転用による意匠である場合には、当業者が容易に創作することができた意匠であるとして拒絶される。
- イ 意匠登録出願に係る自転車の意匠が、意匠登録出願前に頒布された雑誌に掲載された自転車に係る意匠と類似する場合には、当業者が容易に創作することができた意匠であるとして拒絶される。
- ウ 意匠登録出願に係るコンピュータの意匠が、意匠登録出願前にイギリスで発売されたコンピュータに係る意匠と同一である場合には、新規性のない意匠であるとして拒絶される。

問15

ア～ウを比較して、著作権法上の同一性保持権の侵害に該当する可能性が高い行為として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 会社の会議室に飾るため、著作者から購入した絵画の一部の色を会議室の雰囲気合うように変更する行為
- イ 老朽化したため、有名な建築家が設計した美術館を改築する行為
- ウ 公立高校の入学試験の問題を作成するため、新聞記事の一部を引用し、引用部分の一部を空欄にする行為

【第33回3級(管理業務)実技試験】

問16

化学品メーカーX社の知的財産部の部員甲は、研究者乙に、特許協力条約（PCT）における国際出願の国際公開について説明している。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「国際出願日が認定され、国際公開の請求がされた国際出願のみが国際公開の対象となります。」
- イ 「国際公開は、原則として優先日から18カ月経過後に、国際事務局によって行われます。」
- ウ 「英語と異なる言語によって作成された国際出願の書類は英訳され、国際公開は英語のみによって行われます。」

問17

食品メーカーX社は、商標登録出願をしていない商標Aを付した商品を販売していたところ、Y社から警告を受けた。X社が調査したところ、Y社は商標Aと類似する登録商標Bに係る商標権を有し、登録商標Bに係る指定商品は、X社の商品と類似することがわかった。ア～ウを比較して、X社の行為又は考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア X社の商品は登録商標Bに係る指定商品とは区分が異なっており、商標Aの使用は登録商標Bに係る商標権の侵害に該当しないので使用を継続した。
- イ 商標Aの使用が登録商標Bに係る商標権の侵害に該当する場合には、X社は商標Aの使用が差し止められるとともに損害賠償の責任を負う場合がある。
- ウ X社が商標Aを使用開始した時期が、登録商標Bに係る商標登録出願の出願日より先であれば、問題なく、X社は商標Aを継続して使用できる。

問18

ア～ウを比較して、組物の意匠に関して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 発売予定の新入生用通学商品群（鞆，時計，財布）について、「一組の新入生用通学セット」に係る組物の意匠として意匠登録を受けることができる。
- イ 意匠の各構成物品に観念的に関連がある印象を与える模様が施されている「一組のコーヒーセット」として意匠登録出願された組物の意匠については、組物全体として統一があるとして登録が認められる場合がある。
- ウ 「一組の応接家具セット」について組物の意匠登録出願をする際に、提出書類として、図面の代わりに構成物品の実物の写真を提出してもよい。

## 【第33回3級(管理業務)実技試験】

## 問19

X社はファンヒーターに関する特許権Pを保有している。X社は、Y社の製造販売する製品Aが、特許権Pに係る特許発明の技術的範囲に属すると判断し、Y社に対して、製品Aの製造販売が特許権Pを侵害する旨の警告書を送付した。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「警告を受けた後に製品Aの販売を中止した場合には、Y社に対して損害賠償を請求することができません。」
- イ 「特許権Pが特許無効審判により無効にされるべきものと認められる場合は、特許権Pが無効とされなくても、Y社による製品Aの製造販売に対する特許権Pの行使は認められません。」
- ウ 「Y社が、警告によっても製品Aの製造販売を中止しない場合は、裁判所に差止請求訴訟を提起することができます。」

## 問20

化粧品メーカーX社の知的財産部の部員甲は、X社が保有する商標権について確認したところ、主力製品である口紅についての商標Aに係る商標権が、存続期間の満了後すでに5カ月を経過していることがわかった。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「まだ商標Aに係る商標権の存続期間の更新登録の申請を行うことは可能ですが、その際には商標Aの使用証明書を提出する必要があります。」
- イ 「商標Aに係る商標権の存続期間は満了していますが、存続期間の満了後であっても他人は商標Aを使用できないので、そのまま放置しても問題ありません。」
- ウ 「商標Aについて再度、商標登録出願をした場合であっても、登録を受けられない場合があります。」

## 問21

ア～ウを比較して、アパレルメーカーX社が意匠登録出願したポロシャツに係る意匠Aに関して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア X社は、意匠Aの登録後に、意匠Aに係るポロシャツの販売を開始したので、意匠Aの秘密請求期間の短縮を請求した。
- イ 特許庁長官は、裁判所から請求があった場合には、秘密意匠に係る意匠Aを意匠権者以外の者に示さなければならない。
- ウ X社は、登録査定の謄本送達後、意匠公報の発行前であれば、いつでも意匠Aについて秘密請求することができる。

【第33回3級(管理業務)実技試験】

問22

新規な医薬品A及び医薬品Aの製造方法を開発した医薬品メーカーX社では、医薬品Aの製造方法につき特許出願するか否かについて検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「医薬品Aに係る発明について特許出願すれば、医薬品Aの製造方法に係る発明はノウハウとして自動的に保護されるので、医薬品Aの製造方法について特許出願をする必要はありません。」
- イ 「医薬品Aの製造方法に係る発明は、いわゆる方法のカテゴリーの発明であり、特許を受けることはできません。」
- ウ 「医薬品Aの製造方法により製造した医薬品Aの販売は、医薬品Aの製造方法に係る発明の実施に該当します。」

問23

ア～ウを比較して、種苗メーカーX社の知的財産部の部員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「試験目的の利用であれば、育成者権者の許諾がなくても登録品種を利用できます。」
- イ 「登録品種の育成方法についての特許権を有する者であっても、当該特許に係る方法により登録品種の種苗を生産することはできません。」
- ウ 「育成者権の存続期間は、品種登録の日から起算し、存続期間の延長をすることはできません。」

問24

ア～ウを比較して、著作物の利用に関して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 学生が書いた作文の誤字を先生が訂正することは、その作文の翻案権の侵害となる。
- イ 友人が旅行先で撮影した画像からイメージして作曲することは、その画像の複製権の侵害となる。
- ウ 甲の論文を乙がスキャンしてデータにしたものを、乙が友人丙へ電子メールに添付して送信することは、その論文の公衆送信権の侵害とならない。

## 【第33回3級(管理業務)実技試験】

## 問25

自転車メーカーX社は、新規な自転車を開発するにあたり、社外の甲が創作したタイヤAの使用を予定しており、タイヤAについて甲が有する登録意匠について、甲からの実施許諾を検討している。X社の知的財産部の部員が特許調査を行ったところ、甲がタイヤAについて特許出願Bもしていることがわかった。ア～ウを比較して、知的財産部の部員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「特許出願Bが登録された場合、特許権と意匠権とはそれぞれ独立した権利であっても、両方の権利について実施権の許諾を受ける契約を締結する必要はありません。」
- イ 「特許出願と意匠登録出願については、先後願の判断はされませんので、甲は特許出願Bについても権利を取得する可能性があります。」
- ウ 「特許出願Bが出願中であっても、仮通常実施権の許諾に関する契約を締結することができます。その後当該特許出願に係る特許権の設定登録があった場合、新たに通常実施権の許諾に関する契約を締結する必要はありません。」

## 問26

自動車メーカーX社は、日本で特許出願Pをした新規なエンジンAに係る発明について、ドイツでも特許権を取得したいと考えている。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「特許出願Pに基づいてパリ条約上の優先権を主張して、特許出願Pの出願日から12カ月以内にドイツに特許出願した場合、特許出願Pの出願後ドイツへの特許出願前にX社がエンジンAを日本及びドイツにおいて販売を開始したことによって、ドイツの特許出願が拒絶されることはありません。」
- イ 「特許出願Pに基づいてパリ条約上の優先権を主張して、ドイツを指定国に含む特許協力条約（PCT）に係る国際出願を行っても、ドイツの国内移行段階において優先権の効果は認められません。」
- ウ 「特許出願Pの出願日から12カ月以上経過してしまうと、エンジンAに係る発明についてドイツに直接、特許出願をすることはできません。」

【第33回3級(管理業務)実技試験】

4 問27に答えなさい。

問27

電機メーカーX社は、自動洗濯機に関する発明についての特許出願Pを2016年12月1日に出願した後、特許出願Pについて2017年4月10日に出願公開の請求をした。そして2018年6月1日に特許出願Pについて出願審査の請求を行い、2019年6月10日に特許権が設定登録された。この場合、特許出願Pに係る特許権の存続期間が最も長い場合の特許権の存続期間の終期の属する年は、西暦何年になるか求めて、算用数字で解答用紙に記入しなさい。

5 次の発言は、X社の知的財産部の部員が会社の名称の保護に関して、社員に説明しているものである。問28～問30に答えなさい。

「会社の名称については、会社法、商標法により保護を受けることができます。会社法では、会社の名称は、に該当します。このは、に登記されます。また、商標法により保護を受ける場合であって、会社の名称を使用していない場合、使用意思を有していること。」

問28

空欄に入る最も適切な語句を【語群Ⅳ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問29

空欄に入る最も適切な語句を【語群Ⅳ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問30

空欄に入る最も適切な語句を【語群Ⅳ】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

【語群Ⅳ】

特許庁	商号	社章	が求められます
国税庁	法務局	商標	は求められません

**【第33回知的財産管理技能検定】**

**【3級実技】**

番号 正解

- 問1 ×
- 問2 ウ
- 問3 ×
- 問4 ア
- 問5 ○
- 問6 ア
- 問7 ○
- 問8 ウ
- 問9 ×
- 問10 ア
- 問11 ×
- 問12 ウ
- 問13 ア
- 問14 イ
- 問15 ア
- 問16 イ
- 問17 イ
- 問18 ア
- 問19 ア
- 問20 ウ
- 問21 ウ
- 問22 ウ
- 問23 イ
- 問24 ウ
- 問25 ア
- 問26 ア
- 問27 (西暦)2036(年)
- 問28 商号
- 問29 法務局
- 問30 が求められます